

第7回 川越市総合計画審議会 議事要旨

1 開催日時 令和2年11月9日（月）午後2時から午後3時45分まで

2 開催場所 川越市役所7階 7AB会議室

3 出席者 原敏成（会長）、安島博幸（副会長）、樋口直喜、長田雅基、栗原瑞治、中原秀文、高橋剛、小ノ澤哲也、及川康、荻久保和明、眞下英二、矢澤則彦、岡田弘、加藤榮壽、菊地三生、木村伸子、河野哲夫、小谷野和統、櫻井晶夫、関口俊一、原伸次、堀内由紀子、本田倫江、水上春華、山岡俊彦、清水亜実、増田知久

4 会議の概要

1 開会

2 会長挨拶

- ・年内最後の審議会となった。本日も委員の皆さんの御協力をお願いしたい。

3 議事（◎会長 ○委員 ・事務局）

(1) 第四次川越市総合計画後期基本計画（原案）の総括について

○資料7-1の意見No.21、施策No.37にムクドリ対策についての意見がある。ムクドリは農作物などに害する虫などを食べる益鳥であるが、取組施策では「特定外来生物の防除や有害鳥獣対策などにより」という表現になっている。ムクドリ対策を「有害鳥獣対策」と表現するのは正確ではないように思う。

- ・確かに益鳥という区分けもあるかと思うが、これからの生物多様性の中で、ムクドリ対策をどのように扱っていくのか色々と検討した結果、現時点において駅周辺で糞や鳴き声等の害が出ていること、ムクドリ対策を有害鳥獣対策として計画の中に整理している他市町の例があること、ムクドリという固有名詞を今後5年間の計画の中にそのまま入れてしまっよいのだろうかなどの考えがあり、あえて「有害鳥獣」という形で整理を行った。

○ふるさと納税は寄附金として市の一般財源に入る仕組みになっており、観光や福祉に関することなど用途を指定して寄附することもできたかと思う。ふるさと納税の実績についてはどこかに報告されているかと思うが、ふるさと納税の目標や今後の計画があつて、それが達成されているというような表現が、第8章の「住民自治・行財政運営」のところに入るかどうかは分からないが、計画のどこかに入っていた方が自然ではないだろうか。

- ・ふるさと納税は個人からの寄附が一般的であり、一般寄附と指定寄附の2種類に分けられる。一般寄附は用途を特定しない寄附であり、市の一般財源に充てられる。指定寄附は、例えば、お祭りや福祉など用途を指定して寄附をいただくというものである。ふるさと納税については、市外に流出している額が多いということがあるので、今後も返礼品を考える中で取り組まなければならないものであると認識している。計画の位置づけとしては、施策No.48「行政経営マネジメントの推進」の取組施策の「新たな財源の確保に努める」に含まれるものと考えている。

- 資料7-1の意見No. 8についてである。原案の施策No. 3「幼児期の教育・保育と学童保育の充実」の「2学童保育室および民間放課後児童クラブの充実」の中に「②学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。」とある。「改修」は分かるが「整備」が分からない。「整備」はどのようなことを念頭に考えているのか教えていただきたい。
- ・「整備」は今ない状況を新たに作ることを想定しており、「改修」は今あるものを修繕等しながらより良い保育環境にしていくことを想定して使用している。
- 今ない状況を新たに作るものが「整備」だとすると、施策No. 3の課題欄に書かれている「利用者のニーズに応じた環境整備」の具体的内容がよく分からない。意見No. 8の理由欄には『「利用者のニーズに応じた環境整備」の中に放課後児童支援員の確保等も含まれていると考えている。』とも書かれている。今の説明と意見No. 8の理由欄での記載とで整合性が取れているのだろうか。繰り返しになるが「利用者のニーズに応じた環境整備」という表現だけでは、計画原案を見た人の頭の中に人手不足や人的補償などのイメージが浮かばないと思うので、パブリックコメントを行っても意見が出てこないのではないだろうか。ハード、ソフト両面の整備だとか、人手不足、人的補償などの表現を文章のどこかに追加するなど再考をお願いしたい。
- ・ハード面の整備については、取組施策2-②に「学童保育室の整備改修等」と明記している。ソフト面の整備については、取組施策2-①に「保育の質の向上」という文言に含まれていると考えているが、例えば、延長保育なども含まれることが想定されるとすると、その実現のためには当然人材の確保も必要となることから、課題欄に記載している「利用者のニーズに応じた環境整備」の中にも包含された形になっているものと認識している。以上のことから、ご指摘のハード、ソフト両面への対応は取れているのではないかと考えている。
- この原案を読んだ市民が何をイメージするのかということを私は大事にしたいと思っている。「保育の質の向上」という文言に含まれているという説明があったが、「人手不足」という文言としては残らないので、その点については、意見として別途連絡シートを提出させていただきたい。
- 資料7-3の意見No. 18についてである。この意見は私が出したものであるが、この回答では外国籍市民に向けて今後どのような情報発信をしていくのかがよく分からない。やさしい日本語での情報発信について今後の新たな取組施策を具体的に教えていただきたい。
- ・やさしい日本語を意識した情報発信については、まだ具体的な取組は決まっていないが、パンフレット、説明書、リーフレットのようなもので表現できるよう、様々な部署に働きかけを行い、情報共有しながら進めていきたいと考えている。

(2) その他

・今後のスケジュール

本日議論いただいた内容や、必要に応じて各委員から提出いただく連絡シートの内容の検討を行い、11月下旬から12月下旬にかけて意見公募（パブリック・コメント）を実施する。

次回会議は、令和3年1月8日（金）午後1時30分から市役所7階7AB会議室で開催する。

4 副会長挨拶

- ・第四次川越市総合計画後期基本計画原案の総括について、皆さんから活発なご意見をいただいた。いよいよ総まとめの段階である。次回の審議会が最終回となるが、引き続き、委員の皆さんのご協力をお願いしたい。

